

練二通信

No. 406

令和3年2月27日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

令和三年度の教育活動について

校長 濱中 一

二月十三日の東北地方を震源とした地震で、被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

二月には、児童全員にタブレットが配布され、本校でもようやくインターネット環境が大きく前進しました。学習手段や、生活での連絡手段などとして便利になる一方、子供たちには、インターネットセキュリティ、SNSルール、パスワードの管理等、身に迫る危機からの回避について、しっかりと指導していかねばなりません。ご家庭でも、今一度「パスワード管理」「SNS家庭ルール」について、確実な確認をお願いいたします。

今年度の本校の卒業式には、卒業生、保護者の皆様、教職員の他に、在校生代表として五年生が参加します。残念ながら、ご来賓のご列席は叶いませませんが、練二小を牽引してきた六年生の最後の姿を、最上級生となる五年生が見届けられることは、本校の伝統を引継ぐという大きな意味があります。十分に感染症

対策を講じた上で式を挙行いたします。

三月三日には、六年生の卒業記念行事として、記念植樹を行います。今年一年間様々な行事が中止・縮減となる中、卒業生の思い出に残るイベントとして実施することにしました。卒業後、練二小に立ち寄った時に思い出せるような記念樹にしたいと考えています。

さて、令和三年度に向けて、今後の取組をご紹介します。

【『知徳体の調和』学力向上について】

本校は、令和二年度・三年度練馬区教育課題研究指定校として、算数科の校内研究に取り組んでいます。本来であれば二月の学校公開日に、保護者の皆様・地域の皆様に対象とした『中間発表会』を実施する計画でしたが、残念ながら実施できませんでした。令和三年度は、さらに充実した研究を行い、高まる喜びを味わう子、自ら進んで学ぶ楽しさを味わう子を育んでいきます。研究発表会は、令和四年一月二十一日に行います。ご期待ください。

【『新二年生学級編成について』】本校では令和三年度より、新二年生への進級の際に学級編成（クラス替え）を行います。これは、新一年生を、小学校生活に慣れ、学習の基礎をつくる『ブライマリースタート』『新二年生を、本格的に小学校での学びを始める『セカンドスタート』と捉え、学校生活をより充実させる考えに基づくものです。現在の一年生は、新二年生になる際にクラス替えを行います。改めて学校生活をスタートする気持ちで新学期を迎えられるよう、ご家庭でもお話しください。

【『運動会について』】これまで、運動会では、暑さの課題、長時間実施による疲労の課題がありました。そこで令和三年度より運動会の内容を精選し、これまでより時間を短縮して実施します。運動会には、日常の学習の発表という大きな意義があります。体育学習の発表はもちろん、縦割りでの活動、高学年の係での活躍など、多くの意義があります。これらの調和をとりながら、新しい時代の運動会に移行します。

【『学芸的発表行事について』】今年度実施できなかった学芸会を、感染症の拡大状況を見極めながら、令和三年度に実施する予定です。これまで行ってきた「展覧会」「学芸会」「音楽会」というサイクルも含め、検討していきます。

今年度も、一年間本校の教育活動を支えていただき、ありがとうございました。最後の一月、子供たち一人一人との会話を大切にしなが、充実した学年のまとめを行っていきます。

二月の朝会より

○今年の節分は二月二日。地球の公転周期は三六五日と六時間弱なので、四年に一度うるう年を入れて調整する。しかし、長年の間でずれが生じるため、今年は一二四年ぶりに一日早い節分・立春になったとのこと。

○休み時間、教室で、友達との距離が近付きすぎることはないか。マスク、手洗い、距離。コロナを正しく恐れよう。

○国民の祝日で「元日」「天皇誕生日」「憲法記念日」は、その日と正しく分かっているのに『の』がつかない。そうでない祝日には、名前に『の』のがつく。カレンダーを見ているといろいろいるなことが分かる。

○廊下や階段ですれ違うときに、さりげなく右側によける優しい姿を見かける。相手を気遣う心をもって生活しよう。

三月の行事予定

- 3 (水) 木曜時間割 (A時程)
- 4 (木) 水曜時間割 (A時程 午前授業)
- 23 (火) 給食終
- 24 (水) 修了式・卒業式予行
午前授業
- 25 (木) 卒業式
- 26 (金) 春季休業日始

四月の当初の予定

- 5 (月) 春休み終わり
- 6 (火) 始業式・入学式
- 7 (水) 給食始

★今月の生活目標

学校をきれいにしよう

★週の生活目標

- ・机・ロッカーの整理整頓をする
- ・みんなが使うところをきれいにする

委員会活動を振り返って

○代表委員会

「協力し合い助け合う！それがみんなの練二小」という全校スローガンを作り、練二小がよりよい学校になるよう、自分たちで工夫して様々な活動に取り組みました。コロナ禍の中でできることを考え、今年度は、みんなが活動する場所を安全に使うことができるようにするため、月1回の「校庭整備」と、校内でのたくさんの「ありがとうの気持ち」を伝え合う、「ありがとうボックス」の活動を行いました。

また、たけまるアートフェスティバルのスローガン作成や、ユニセフ募金、あいさつ週間の活動など、さまざまな場面でリーダーシップを発揮し、練二小がより楽しく過ごせる学校になるよう、協力して活動することができました。

○運動委員会

運動委員会では、学校みんなが安全に楽しく体育の学習ができるように体育倉庫の整理整頓やボールの空気入れを行っています。また全校で取り組む「なわとび月間」では、リズムなわとびの跳び方を紹介し、休み時間には、なわとび検定を行いました。

○集会委員会

集会委員会の活動は、児童集会の企画・運営、児童朝会の準備、体育館の窓の開閉です。今年度は、放送を使ってビンゴをしたり、学級ごとに文字を作り、

それを組み合わせるとどんな言葉になるかをクイズにしたりと新しい形式の集会に挑戦しました。全校児童が集まらない中でも、仲良くなるようなゲームを工夫し、みんなで楽しむことができました。

○放送委員会

今年度は、コロナの影響でなかなか思うように活動はできませんでしたが、そうした中でも、みんなと協力して学校のために情報を発信してきました。

印象深いのは、みんなに放送委員会のことを知ってもらうために、オリジナルティあふれる集会を企画し、上映できたことです。最後は集まる機会がなくなってしまうましたが、みんなが協力し責任をもって取り組むことの大切さを学べたことは十分価値あるものだと思います。

○保健・給食委員会

保健給食委員会では、保健室でのお手伝い、毎日の給食黒板の記入などの活動を行っています。また、病気の予防や、栄養バランスの良い食事を呼びかけるポスターを作成し、掲示をしました。

そして、今年も好きな給食を選んでもらう「リクエスト給食」を実施しました。主食、主菜、副菜、汁物それぞれ選ばれたメニューが、3月の給食に出されます。人気のあるメニューは、ココアあげパンや、かぼちゃのミートグラタン、フルーツポンチ、ABCスロープなどでした。三月の献立や、毎日

の給食がより楽しみになりますね。

○飼育委員会

飼育委員会では、四季折々のビオトープやバタフライガーデンのお手入れや、ウサギやフナのお世話を通して「命」と向き合う活動をしています。年度当初、白いウサギのミルクが亡くなり寂しくなっていました。今年度は、ウサギのココアと大きな水槽にいる金魚のマジギョとキンちゃん、フナのフーナをお世話しています。

長期休業中など閉庁日の関係で、飼育委員会の保護者の方々にはウサギのお世話のご協力をいただき本当にありがとうございます。来年度もよろしくお願いいたします。

○図書委員会

「練二小の子供たちが本に親しみ、読書を楽しめるように」というめあてをもって活動しました。常時活動として本の貸し出し・返却の対応や整理整頓を行った他、「おすすめの本のポスター」を作ったり、「図書新聞」を発行したり、読書週間に向けて活動したりしました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、低学年への読み聞かせや舞台上での発表などはできませんでしたが、様々な制限のある中で、本好きの子供たちが、図書委員として生き生き活動することができました。

春休みを迎えるにあたって

生活指導主任

いよいよ春休みを迎えます。年度末の短い休みではありますが、進級、進学を控えた大切な時期です。次のことについて学校で指導をしますので、ご家庭でもお子さんとしつかりと向き合い、話し合って安全に生活できるようにお願いします。

①規則正しい生活

早寝・早起き・朝ごはん。健康に過ごせるよう、ご家庭の約束を作り守りましょう。

②学年の振り返りと、新学年の準備

一年間の学習の復習や作品の整理と、新学年に向けての準備をしましょう。

③交通安全

交通事故に気を付けましょう。特に自転車の飛び出しによる事故には、十分気を付けましょう。また、道路では遊ばないようにしましょう。（キックボードやウエイクボードなどは公道では使用しません。）

④不審者等の被害の防止

暗くなったら、子供だけの外出はしないようにしましょう。（外出時には、防犯ブザーを携帯させてください。）住所や電話番号を聞き出す不審電話にも気を付けましょう。

⑤インターネット、携帯電話の使い方

「SNS練二小ルール」をもとに「SNS家庭ルール」をしつかりつくり、有害サイトへ接続したり友達を傷付けたりすることのないよう、よく考え約束を守りましょう。

後日配布の「春休みの生活について」も参照し、春休みを安全に生活できるようにご協力ください。

